

生鮮食品事業

Fresh Food Business



生鮮食品事業では、全日空商事と共同開発したプライベートブランド・バナナとして、フィリピン産「frescana」（フレスカーナ）や南米エクアドル産「田辺農園」などを主力商品としており、生産から販売に至るまで全てを自社で管理することで、生産者の顔が見える安全で安心して食べていただけるバナナを皆様の食卓へお届けしています。

主な販売先は、大手スーパー・コンビニエンスストアや全国の青果市場などで、中でもバナナの販売取扱量は、国内全体の約10%を占めています。

※”frescana”の名前の由来は、「fresco」（スペイン語で「新鮮」の意味）と「ANA」を合わせたものです。

/ 田辺農園

南米エクアドルの標高300mにある「田辺農園」と、2005年6月にANAグループが独占契約し、産地から国内の店頭までの物流を一元化しています。エクアドルの土壌の特性を生かし、傷ついたバナナや茎・葉など可食部分以外も無駄にせず、有機質肥料として畑に還元する田辺式「バナナ循環農法」で、オゾン殺菌した水で品質を管理し、安全・安心への徹底したこだわりと環境に配慮した栽培を行っています。農園主 田邊正裕さんの「顔」が見えるこだわりの商品を提供しています。



/ frescana

2001年11月に事業を開始した自社ブランドバナナ「frescana（フレスカーナ）」は、スペイン語で「新鮮な」という意味の「fresco」と、輸入元である全日空商事「ANA」から名づけられ、産地であるフィリピン・ミンダナオ島の農園では、農薬や化学肥料の使用量を可能な限り抑えて、安全性と環境に配慮し栽培しています。

当社担当者も頻繁に現地を訪れ、品質管理には細心の注意を払い、畑から皆さんの食卓にあがるまで責任を持ってお届けしています。



/ あまみ

ラオスの標高900m以上の超高地で、じっくり・丁寧に育てたこだわりのバナナです。

昼夜の寒暖差が大きく、ゆっくりバナナが成長する為、通常のバナナよりも長期間をかけて栽培しています。その為、果肉がぎっしり詰まった、甘くてもっちりしたバナナに育ちます。

ラオス産バナナは、当社が唯一日本国内で輸入販売しており、まさに「あまみ」が自慢の商品です。

※2023年10月時点



🔄 取り扱い商品のご紹介

バナナ、アボカド、キウイフルーツ、パイナップルなどのトロピカルフルーツ類・野菜